

令和2年度 放課後活動指導者研修 実施報告⑤

実施日：令和2年9月30日（水）

○事例発表・講話

「よりよい放課後活動を目指して」

平石中央小放課後子ども教室「りんごの木」 コーディネーター
放課後 NP0 アフタースクール 理事 チーフマネージャー

今川 かえで 氏
有坂 絢子 氏

始めに、平石中央小放課後子ども教室「りんごの木」の今川かえで氏より、御自身の活動実践を発表していただきました。「りんごの木」では特に工作活動が充実しており、発表当日は子どもたちが制作に取り組んだ様々な作品が通路に展示されました。実際に活動を進める際に配慮していることや各活動プログラムの長所、地域や学校、放課後児童クラブとの連携における注意点や利点について、詳しくお話いただきました。休憩時間には、展示された作品の材質や制作方法を確かめる受講者の姿も見られました。受講者の今後の活動に生かすことができる発表で大変参考になりました。



その後、放課後 NP0 アフタースクールの有坂絢子氏にお話をいただきました。有坂氏も、今川氏同様に豊富な活動経験があり、活動プログラムの紹介はもちろん、子どもとそれを取り巻く地域社会にとっての放課後活動の意義や可能性についても、熱心にお伝えくださいました。

前半は、放課後という自由度の高い時間にも、子どもたちが様々な大人や社会と関わりながら主体的・創造的・協同的に行う活動を取り入れることで、これからの時代を切り開いていく力を養うことができることを説明いただきました。また、放課後活動の充実、幼い子を持つ親の働きにくさや、子どもの

自己肯定感の低下などの課題を解決しう、というお話もいただきました。

後半は、放課後 NP0 アフタースクールで実践している活動プログラムについて、豊富な動画資料を使った詳しいお話がありました。オンラインの活用や企業・行政・地域社会との連携により活動がさらに充実すること、また、きっかけ作りとして本物を体験させるといった、子どもたちが自発的・継続的に活動に取り組む「仕掛け」をしていくことなど、活動プログラムを組み立てていく上でポイントとなることをたくさん示していただきました。

これからの放課後活動の在り方を考える際の様々なヒントを得る機会となりました。



★ 受講者の声 ★

- ・放課後は子どもにとって大切な時間であることが分かった。
- ・放課後の可能性を改めて感じた。いろいろな事例の発表は参考になった。
- ・子どもたちの可能性を見ながら、事例を参考にできることから取り入れたい。
- ・身近な「市民先生」探しや、オンラインの活用などを進めていきたい。
- ・子どもたちが自発的、継続的に活動できるよう、協力していきたい。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL: 028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp